

ちいさな手通信

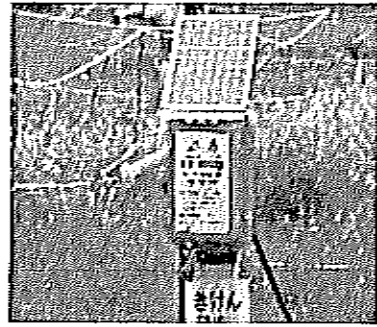
発行
NPO法人
地域福祉支援
センター
ちいさな手
発行責任
清野祥子

鹿の食害から農園を保護

畑に鹿対策

ソーラー電牧設置で効果

作付けが終わわり一段落し、植えたものが芽を出した頃を狙って例年のごとく鹿の訪問が相次ぎました。鹿は、訪問するだけなら見ていてかわいが、新芽やかぼちやの苗など次から次へと食べ、てしまい、今年もビニールハウスのものしか食べられないかと少々がっかりしていた矢先に電牧が鹿対策に有効であるという情報を得て、早速様々な関係機関や関係会員など、農家に情報網のある方にリサーチしたところそれほど難しくなく設置可能



空里ちゃんが亡くなったって丁度一年が経とうとしています。一緒にいた時間が長かったせいかな、ふとした事で思い出します。寝たきりになつて三カ月排せは人間同様に紙おむつを使

空里ちゃんのこと

なかなか合うサイズのものではなく、人間ぬけず。最期までシ

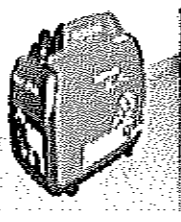


トにくるみ二人がかかりで外に運んでの排便でした。

である事が分かりました。たまたま浅野活動員の知り合いの農家から休職中のソーラー本体を譲り受け少々手を加え、足りない部材を農協に発注し、七月十四日に設置しました。これで来年からは、もう少し色々な作物を植える事が可能になり畑も有効利用できるようになるのではな

いかと今から期待を膨らませております。尚、設置にかかった費用は設備工事費用とあわせて約九万円でした。

計画停電対策実施

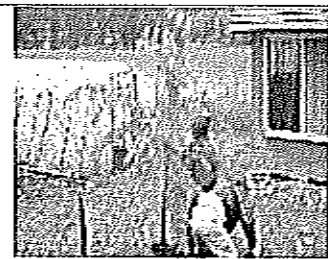


発電機を利用し水の利用可能に

七月二十三日から計画停電が予定されているのを前に、ちいさな手での対策を考えた結果、困る問題の優先順位として地下水をくみ上げるポンプが回らなくなり、水周りが使えなくなる事と判断し、発電機をポンプに直結させて対応することにしました。七月三十一日に工事をし費用は、約二十万円でした。

桜の木を移植

清野節子さんの家からちいさな手へ



清野節子ボランティアの桜の木の下で発芽したものを大事に育てた木が約二メートルを超え、大きくなりました。かねてからちいさな手の土地に移植したいと希望があり六月

十日に清野忠伸会員と光彦活動員と一緒に移植を試みました。移植したものは、このほかに約一メートルほどの小さな木と二本で、植えた当初は上手に根付くかどうか心配致しましたが、どうやら二本とも今のところ順調に経過しているようです。安心していきます。

奥山さくら活動員結婚



おめでとう！

初から予想されていましたが、ほぼ毎日利用の二名の子ども達を加えて今までにないにぎやかな声が響きわたり、高齢者だけの世界と違った独特の雰囲気を感じています。

編集後記

六月三日奥山さくら活動員が結婚式をあげられました。これからは、浅野さくらになります。

児童の利用が好調

四月から新規利用の児童が増えた日中一時支援部門の活動が好調です。年度当

▼八月の声を聞く
と空気が一気に秋の気配▼それでも今年はおリンピックが熱い▼夜中に熱い間を親であつという間に朝▼メダルの多さに年甲斐もなく一喜一憂▼高校野球も始まり、暑い夏はまだまだこれから(光)